

平成 25 年度長野県生涯学習審議会の概要について

文化財・生涯学習課

- 1 日時 平成 25 年 11 月 1 日（金）10 時 25 分～16 時 00 分
- 2 会場 上伊那郡宮田村（宮田村公民館）、
伊那市（高遠町総合福祉センター「やますそ」）
- 3 内容 長野県生涯学習審議会答申（H21.10）
基本目標「学びの絆で地域力を高める生涯学習の推進」
⇨ 生涯学習・社会教育の状況の現地視察と協議

（1）実践発表の概要

○宮田村公民館講座「ワインセミナー」の取組

村が進める山葡萄栽培とワインの製造・販売という 6 次産業の振興に、公民館もワイン文化の普及と発展を目的に講座を開設し、地域づくりに貢献
※「公民館等を中心とした社会活性化支援プログラム」（文科省委託事業）

○伊那市高遠町公民館講座の取組

「桜大学」は 35 年間に渡り地域の歴史・文化・自然・時事等をテーマに実施。旧藩校を使つての「進徳館夏の学校」では子ども達に論語を指導。野外学習を楽しむ「南アルプス（構造線エリア）ジオパーク講座」も盛況。

（2）協議「生涯学習・社会教育の推進における県の役割について」

【委員からの主な意見】

○住民のニーズが多様化、高度化している。
それに応える指導者の養成や先進事例等の情報提供をしてほしい。

○関係部局、NPO、民間企業等との連携
・協力を一層推進していくことが大切である。



宮田村公民館での開会行事

○高校生は、地域の活性化に大事な役割を果たすことが期待される。高校生と市町村等とのつなぎ役を担ってほしい。

○地域で活躍される方々の発表の場づくりや、学んだことを評価する資格の付与等を考えてほしい。

○子ども達の地域行事への参加については、学校から呼びかけてもらうと効果大きい。学校への働きかけ等を進めてほしい。

○市町村等への支援を充実させるために、身近な存在としての教育事務所の機能を強化して欲しい。



高遠町総合福祉センター「やますそ」での協議

○以前実施されていた社会教育主事の市町村派遣事業は、市町村の社会教育の振興に効果大であった。類似の事業を検討してほしい。

(3) 生涯学習・社会教育推進のための今後の取組

- 「県生涯学習推進センター」における多様な住民ニーズに応える指導者養成等の研修を進める
- 「信州型コミュニティスクール」事業の推進により学校支援の仕組みづくりや学校と地域の連携・協力の充実を図る
- 県公民館運営協議会、市町村公民館に働きかけて「公民館等を中心とした社会教育活性化支援プログラム」等を活用して県民が学んだ成果を発表する場づくりを進める
- 「他部局・他機関等」「教育事務所」と連携して市町村等へのきめ細かな支援・相談体制の充実を図る